

高岡市環境と経済の好循環のまちモデル事業（平成のまほろば事業）の推進について

環境と経済の好循環のモデルとして本市が提案した事業（平成 17 年度～19 年度 3 カ年事業）が、去る 8 月 11 日に環境省により採択された。

1 モデル事業の概要

環境を良くすることが経済を発展させ、経済を活性化することにより環境も良くなるような環境と経済の好循環を実現し、その取組みを国の内外に普及させるために、環境省では 16 年度から「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を実施している。

本事業は、環境と経済の好循環を地域発の創意工夫と幅広い主体の参加によって生み出すまちづくりのモデル（地域が提案した計画）に対し、国からの委託による計画づくりや学習活動（ソフト事業）を行うとともに、二酸化炭素排出量を削減するための設備の設置（ハード事業）に必要な経費の一部を国が交付するもの。

採択された本市提案のハード事業では、本市が全国に生産を誇るアルミサッシ産業の複層サッシと高効率住宅機器等を活用した「省エネ名人の家事業」をはじめ、本市に多く立地する金属溶解加工業の「省エネモデル事業」、廃食油や廃木材の燃料化事業に取り組む。

ソフト事業では、省エネ見学ツアーや省エネ勉強会など環境を学ぶ行動、省エネ家計簿やマイバッグ運動、公共交通機関の利用促進など環境にやさしい暮らし方の実践、地域の優れた環境資源を活かした環境エネルギーマップ作成などを通じた環境にやさしい行動の環を広げる事業に取り組む。



